

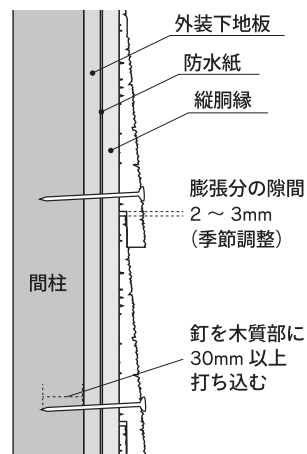
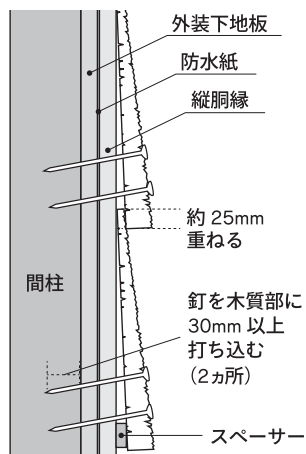
パネリング及び不燃／準不燃木材 施工要領

1. 施工前

- 直射日光や雨が当たる場所、湿度が高い場所での商品の保管はお止めください。
- 天然木のため、施工前に仮並べをして色、柄のバランスをご確認ください。その際、商品に不具合がないかご確認の上、お使いください。

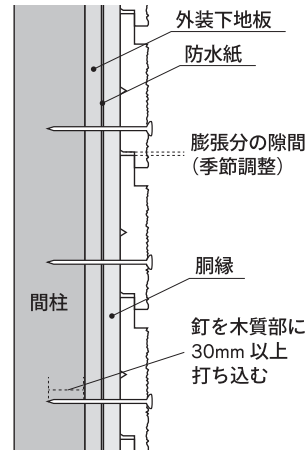
2. 施工

- 現場で塗装される場合は、必ず施工前に行ってください。反り、曲りなどを防ぐためにも、両面に塗装されることをお勧めします。
- 柱、間柱、胴縁は、乾燥材で反りや曲りのないものを使い、303～455mm 間隔で仕上げてください。使用する釘は、内装材の場合、商品の厚みの2倍以上の長さ、外装材の場合、3倍程度の長さのものをお使いください。
- パネリングを施工する箇所には、5.5mm 以上の耐水合板を下貼りしてください。
- 下張りした耐水合板の上に、柱、間柱、胴縁の位置を墨出ししてください。
- 湿度の変化により、膨張収縮が生じる可能性があります。環境に応じて実の入れ具合を調整してください。
- 下地に釘打ちしてパネリングを固定してください。反りなどが発生しやすい箇所に施工する場合は、裏面に接着剤を塗布してください。
- パネリングの幅方向の両端は、柱や間柱などに密着させないで、必ず5～10mm 程度のクリアランスを取って、廻り縁などで隠してください。また、貼り終える最後の一枚は、5～7日間おいてから施工されることをおすすめします。
- 腰壁上部を漆喰や珪藻土などで仕上げる場合は、湿気による反りや膨張が起こりやすいため、注意が必要です。
- ベベルサイディングおよびチャンネルサイディングを施工する際は、サイディングの重なった部分に釘を打たず、重ね部分のすぐ上(約5mm)に打ってください。
ベベルサイディングは、幅が狭い1×6タイプは釘打ち1カ所、幅が広い1×8・1×12タイプは釘打ち2カ所をおすすめします。



※外壁で使用する場合は、いずれもラフ面を表にしてご使用ください。

チャンネルサイディングは、タテ張りの継ぎ目は各々の端を45度にかットして、胴縁の上で継ぎ合わせてください。継ぎ目部分の胴縁は、必要に応じて2本並びにしてください。
出隅はサイディング同士の突き付け、または目地をあけコーキングの充填をしてください。ヨコ張りの出・入隅の施工はベベルサイディングと基本的に同じです。



※外壁で使用する場合は、いずれもラフ面を表にしてご使用ください。

3. 養生

- 養生テープを直接本商品に貼ることは、表面を傷める場合がありますので、お止めください。
- 壁面全体を養生シートで覆うようにしてください。一部が露出していますと、日焼けして他の部分との色違いが生じます。

免責事項のご案内

- 商品到着後、施工前に商品の内容をお確かめください。
施工後のクレーム(曲り、反り、膨張、収縮、割れ、日焼け、貼り間違い等)は、応じかねますので、必ず検品をしてから施工を始めてください。施工前に、商品の不具合が判明した場合は、直ちにご連絡をお願いします。弊社の責めによる場合は、速やかに代替品の発送手配をさせていただきます。
 - クレームが発生し、商品の設置や取り外しなどの工事を行った場合、当社製品が直接の原因となるクレーム以外は、費用の負担はいたしかねます。また、商品開梱後、切削された後の交換及び返品は、お受けいたしかねます。
 - 無垢材の性質上、色柄の違いなど、やむを得ないものは、クレームの対象外とさせていただきます。
- お客様におかれましては、こちらをご理解いただいた上でご採用くださいますようお願い申し上げます。